

令和3年10月17日

鎌倉市長選挙

鎌倉市

執行

選挙公報

選挙管理委員会

2018年 **THINK YUIGAHAMA** は6千人の署名を集め
由比ガ浜の大規模開発にストップを掛けました！



今こそ THINK KAMAKURA

給食を自校式オーガニックへ転換していく。『学ぶことは楽しい!』そう思える学校教育。

市役所移転・村岡新駅など大型事業推進から『暮らしを優先する』市政へと転換！

深沢地域に防災機能を備えたグラウンドを、野村総研跡地には体験学習施設を整備する。

コロナ対策は公平な情報の提供と、市民に自由な判断を促す環境作りをする。

女性の社会進出を後押しする! ゴミの減量と環境負荷の低い処理を実践する。

文化・伝統・アート・音楽をもっと身近にするため、体験の場・表現の場をつくる。

歩いて感じる鎌倉、小さな店が輝く鎌倉へ。ゾーニングを抜本から見直す。



1975年8月27日千葉県松戸市に生まれ育つ。松戸市立松戸高等学校からアメリカフロリダ州のドクターフィリップスハイスクールに転入し卒業。帰国後は都内で様々な仕事を経験。両親と共に鎌倉に移住し、後に結婚。2015年由比ガ浜4丁目の大規模開発の見直しを求めるTHINK YUIGAHAMAを立ち上げ、事務局長を担当。2019年由比ガ浜西自治会長に就任、現在に至る。夫と共に鈴木屋酒店を営む、二児の母。愛犬家。

salakamakura.com

無所属
46歳

兵藤さら

取り戻そう、市民の手に

決断と責任 ~コロナ禍の今だからこそ、財政出動を!~



市役所移転、村岡新駅の大型開発よりも、コロナから市民を守ります

経歴

昭和41年6月26日生
群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒業
温泉コンサルタント
大阪観光大学観光学研究所客員研究員
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
鎌倉野球協会会長
鎌倉居合道協会参与
(一財)杉原千畝記念財団理事
サッカー4級審判
公認学童野球審判員
公認学童野球コーチ
第3級アマチュア無線技士
議会 第62代鎌倉市議会議員
総務常任委員会委員長

著書
「安全な温泉・あぶない温泉」(草思社刊)
二階堂在住
選挙事務所
鎌倉市御成町13-40
Tel 0467-61-0305
Fax 0467-24-5658

- コロナ対策**
抗体ワクチン専用設備整備します
高齢者に緊急通報機器を配布します
自然免疫力を高める医食同源に取り組みます
- 経済雇用対策**
緊急運転資金融資を行います
障がい者、ひとり親を職員として積極雇用します
司書、職員の新規雇用を増やします
- ゴミ問題**
迷走するゴミ問題を決着させます
- 災害対策**
災害に強い街にします
災害教育を充実させます

- 教育福祉**
小中学校特別教室にエアコン設置します
交通困難地域に公用車を活用し循環利用します
- 文化芸術スポーツ振興**
野村総研跡地に歴史的建築物移築、文化施設整備
深沢に野球場、サッカー場、テニスコート等整備
大学を誘致し、学園都市を進めます
フリースクールを設置します
給食費、保育料無料化します
- 女性副市長公募します**
市民と職員が選ぶ女性副市長
- 市民会議**
重要政策は、市民会議で決めます

鎌倉市議会議員 **長嶋竜弘**

応援しています

鎌倉市名誉市民・平山郁夫さん長女 万葉詩人 **平山弥生**

能楽師 囃子方大倉流大鼓 重要無形文化財 総合指定保持者 日本遺産大使 **大倉正之助**

中沢からゆき

投票日 10月17日

投票時間 午前7時から午後8時まで

令和3年10月17日

鎌倉市長選挙

鎌倉市

執行

選挙公報

選挙管理委員会

コロナから市民を守り、共に未来を切り拓く!

【松尾たかしの実績】

借金(市債残高)を約**245億円**削減し、
(936.5億円→691.8億円)

貯金(全ての基金合計)を約**39億円**増やしました。
(63.3億円→102.3億円)

コロナ・災害対応

- ◆ ワクチン接種は神奈川県の中で一番早く進んでいる(9月27日時点で1回目接種率72.83%) また、高齢者および障害者の接種会場までの往復タクシー費用を助成
- ◆ 市民一人5,000円分の「緑むすびカード」を配付
- ◆ 法人には最大100万円、個人事業主には最大50万円の中小企業家賃支援補助金を支給
- ◆ 国の特別定額給付金(10万円)の給付基準日の翌日以降に生まれた新生児及び妊婦の方のおなかの中の赤ちゃんに10万円を給付
- ◆ 民有緑地(農地や住宅地を除く)の樹木の伐採等の費用助成開始と、防災工事費用の助成上限額を、防災工事250万円→500万円、伐採工事60万円→100万円に引き上げ
- ◆ 避難所の強化及び新型コロナウイルス感染防止対応のため、マスク、パーテーション、簡易型シャワー、貯留式トイレ等を配備

未来への取り組み

深沢のまちづくりは、市役所・消防本部・グランド・総合体育館・公園を整備し、災害時に迅速かつ効果的に対応でき、また自衛隊の災害支援受け入れなど、災害時の防災拠点として整備し、鎌倉市全体の防災力向上を目指す。

現在の市役所の跡地活用は、行政の市民サービスや相談窓口を残して近隣の利便性を維持しつつ、図書館・学習センターのホール・ギャラリー・市民活動センターなど文化・交流機能を集約し、芸術・文化・歴史の発信拠点とする。駅前の利便性の高い場所に市民が集い・学び・交流し・憩える場を整備し、鎌倉市民の拠点となることを目指す。

主要政策

- ◆ コロナウイルスの感染症対策強化・経済対策
- ◆ 地震・津波・豪雨などの災害に備えたインフラの強化
- ◆ 「(仮称)鎌倉防災リーダー」を育成し、さらに防災士資格取得の補助を創設
- ◆ ヤングケアラーや老老介護支援のため、ケアラー支援条例を制定
- ◆ 障害者二千人雇用事業を引き続き強力に推進
- ◆ 全ての公共施設へ、再生可能エネルギー100%の電気を導入
- ◆ ゴミの戸別収集の実施
- ◆ 中学校を卒業するまで、全てのこどもの医療費を無料化
- ◆ 学校給食にオーガニックや地場産品を導入

プロフィール

昭和48年鎌倉市生まれ。西鎌倉幼稚園、西鎌倉小学校、鎌倉学園、日本大学、会社勤務を経て、鎌倉市議会議員、神奈川県議会議員を通算約8年間勤め、平成21年より鎌倉市長(現在3期目)。家族は、妻と3人の娘(8歳・10歳・14歳)。趣味は山登り、ジョギング。座右の銘は『温故知新』。



松尾たかし

松尾たかし 実績 <http://www.matsuonet.com/>
12年間の市長としての実績と未来への取り組みはこちら→



投票日

10月17日(日)

投票時間

午前7時から 午後8時まで

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。